

4 「教養」を語る

駒場の学生や教員を対象に行ったアンケートの回答¹をうけ、立花ゼミ「教養と教育」班の学生が、企画のテーマとして設定した「教養」や「教育」について自由に語り合った。

参加者²

- W 脇田 佳幸（文科三類2年。都立高校出身。教養学部後期課程に進学予定。）
- E 遠藤 駿（文科一類1年。道立北陵高校出身。駿台予備校で一浪。）
- Y 山本 遼（理科一類1年。福岡県立小倉高校出身。）
- L 李 太喜（文科三類1年。大阪府私立建国高校出身。馬術部所属。）
- N 内藤 拓真（文科三類1年。山梨県私立駿台甲府高校出身。駿台予備校で一浪。）

1なお、発言中の「問X」は、学生向けアンケート（前々章）のX番目の設問に対応している。

2本資料内「ゼミ生による『私の教養観』」の章も参照。

「教養教育」？

- W 問1の「思う」「思わない」の割合は出てる？
- N 70%くらいが「思わない」。
- L みんな、教養教育は成功していない、と。
- W 理由は？
- L 基本的に進振り、得点ばかり。で逆評定で点の取りやすいのばかり。
- N 僕が集計した感じでは、まず根底に進振りの批判があって、もうちょっと書いてくれた人はそれが点取り合戦になってるとか、点数化されてるのがいけないとか。さらに書いてくれた人は、「生徒³にも教員にもやる気がない」と。
- Y アンケートに「進振りそのものがどうか」という質問はない…けれど、進振りについてみんな書いてくれてるの？
- W 悪の権化のように（笑）。進振りがいけないっていうのは、点数をつけて行うのがいけないってことでしょ？
- N 一年半の教養のあと、振り分けすることには不満はないけど、今のシステム、平均点の高い順に選んでくってというのがイヤだと。
- L 基本的に批判が多い。
- W 一つ目の質問、うちらがどう思うのかっていうことを喋ってみる？
- N 成功していると「思わない」人！
（多数が手を挙げる）
- N 成功していると「思う」人！
- W はい！もっと良く出来るとは思うけど、ある程度は出来てるんじゃないですか？

3この「生徒」という表記はアンケートの原文ママ。一般的に、中学生・高校生を「生徒」、大学生を「学生」と呼ぶことを考えると、非常に興味深い。駒場は大学なのか？

- その点では僕も成功してると思う。他の大学よりは成功してる。
 「教養教育」って難し過ぎる言葉じゃないですか。教養教育が成功しているかどうかって…「教養」の「教育」ですよ（笑）。
 何段階も投げてるよね（笑）。
 ただ、教養課程にいるわけで、教養とは何たるかを知らないで学んでいる、というのには問題がある。
 そもそもアンケートでは「教養って何？」とは聞いてないんですか？
 聞いてないだよこれ。
 学生に聞く際に、ためらったんだよね。最初にこの質問を持ってくると重すぎるんじゃないかって。
 たぶんみんなが漠然と抱いてるのは、雑多な知識というか、そういう感じじゃないですか？何でも知っているというか。イギリスの社交パーティーとかで、「ナツメソウセキガ…」とか言われたら、「そうです。…」って答えられるような（笑）。
 幅広い知識、ではダメだっていう意見が教官アンケートにあった。
 なぜ？
 教養イコール幅広い知識って思ったらダメだって。考える力とかあげてる人いたね。
 個人個人のレベルではそれは良いかもしれないけど、教養を測ろうとしたら、どうしても知識にならなくちゃいけないし。立花先生も「知識だけじゃない」と言っておきながら、最終的には知識になってたり（笑）。今の東大生はこんなことも知らないんだ！って話とか。
 「ポパー⁴も知らないの!？」みたいな（笑）。
 ソロス⁵とかね。「歴史を知らないやつはただのブタである」（笑）。
 だから結局知識なんじゃないかという話になる。
 教養とはなにか…？
 まずは幅広い知識。
 「教養」と「教育」ってなんか噛み合わなくない？
 教養なんて教えられるものじゃないよ、っていう…。
 そうなんだよね。
 それも一つの答えじゃないですか。
 じゃあもう全否定ってことで（笑）。
 教養教育なんてありゃしない（笑）。
 誰かの解答にあったよね？教養は本を読むことによってしか身につかない。教えられるものじゃないって。
 教育って何なんですか？ちょっと聞きたいんだけど。
 教育ですか？教育ってのは…。
 洗脳ですか？
 それ俺も悩んだんですよ。小学生中学生ならまだしもですよ、大学生になっても先生が900番講堂⁶でずっとしゃべってるじゃないですか？その話を聞いていることに何の意義があるのかって。
 今ぼそっと、洗脳という言葉が出たんだけど（笑）。
 でも結構辞書とか引いたら、洗脳って言葉が書いてあるよ。
 方向付けを勝手にしちゃう…。

4 カール・ライムント・ポパー。イギリスの哲学者。純粋な科学的言説の必要条件として、反証可能性を提唱。主著『開かれた社会とその敵』。

5 ジョージ・ソロス。アメリカ人投資家。『ソロスは警告する』など。

6 正式には「900番教室」。600人を収容する駒場最大の講堂。準必修の授業や、駒場で先行して行われる法学部の授業などがよく開講される。

- Q そこを新たに考えさせるのが、大学生の時期なんじゃないんですか？ その方向づけに対して、大学生になったあたりで振り返れるからいいんじゃない？
- A 誰かさ、今まで積み重ねてきた知識を全部崩して立て直す力、みたいな定義してなかった？
- Q そもそも高校までの教育は教養教育では無い、っていう考え方で良いの？
- A 教養教育ではないでしょ？
- Q 受験教育ですね。
- A 基礎学力というか、国として認めた範囲で必要な知識を与えるという感覚で、カリキュラムが組まれてるから。
- Q 「国を成り立たせる」ため。
- A 高校までが義務教育と言っていい状況ですから、今は。高校までは基礎知識というか、社会に出て不足ない知識を伝えよう、みたいな。高校に96%行きますからね。
- Q 大学から教養教育、どんなものかよくわからないけど、それが始まって自分自身を見直すよ。
- A 見直す機会があるっていうのは、大学に自由な時間があるから…。
- Q なんで大学で「教育」をしてるのかっていう問題まで掘り下がって来ちゃったんですね。
- Q 「駒場は高校4年生」論（笑）。
- A そういう用語があるんですか？
- Q 僕は知らなかったけど。
- Q だって受験勉強してる感じがするでしょ？
- A 確かに受験勉強みたいです（笑）。
- Q みんな点数取るために必死になって。
- Q そういうことに不満を感じてる人がアンケートで答えてくれた。
- Q 問2に行ってみますか。
- A 例えば、無駄に講義に時間を費やさなくなったとして何をするんですか？
- Q 人生を涵養する（笑）。
- A 具体的には？
- Q 謎なんだよ、教養って。
- Q 問2の答えを見ると、進振り、進振り、進振り…。やっぱりみんな自由に勉強させて欲しい。でもそうなったらそうなったで本当に勉強するのか？
- Q 授業の人数の問題もあるんじゃない？ 本一冊読めば充分だった、というような授業が実際にある。
- Q 900番が不人気ってことですよ？ 問8、「こんな授業があったら良い」っていうのにも、少人数クラスの希望が多い。
- Q 少人数でディスカッションをバンバン出来るような授業が良い、と。
- Q そこが結構重要な感じがして。教育が洗脳なんでしょ？ 要するに一方的な授業ってことでしょ？
- A さっきの話では高校までは、ってことでね。
- Q 高校までは一方的な授業だったけど、大学ではインタラクティブな授業が良い⁷。その時点で、洗脳的な教育から抜け出してる。そこで自己の確立というか、自分の価値観で全てを破壊して捉えなおす感じですよ。そこらへんが高校までと大学からとの違いだと

⁷この場合、「授業」という言葉は似合わないかもしれない。

思うんですよね。教養というのは、その姿勢を身につけること。

W ジャあ今こういうことをやってるのがまさに教養だと。

Y 見直しが教養ですか？

W 体制を批判する、というような？ 全共闘みたい（笑）。

Y 体制って言うという意味がちょっと（笑）。批判するっていうのは割とよく出てくる言葉ですよね。

L 本を読むっていうじゃないですか、教養をつけるために。でもそれは本を主体的に読むっていう意味で使ってると思うんですよ。だから本をただ読み続けるだけじゃ教養は身につかないと思うし…。

Y 数や量をこなすだけではダメ。

L そうそう。どう批判的に読むか。常に批判の心を持って読むとかそういうことがないと、教養は身につかない。

本 vs. Web

W 本に対して、Web がどこまで対抗できるかっていうのは分野によってだいぶ違うんじゃない？ どうなんだろう？

N それは問 4 あたり見ると良いんじゃないんですかね。

W でもやっぱり教養を身につけるためのツールとして読書を挙げてる人は多い。若者の世代でも多い。

N 教養と読書っていうのはセットな感じがする。

W Web って書いてくれた人います？ サイト上げてくれた人いる？

N あんまりいませんね、全部で 10 個くらい。他は「読書」という答えが多い。

W だからその本の世界に対抗するような Web ページを作ろうっていうのが、一つの方向じゃないの？

N 本と Web 以外で効率よく情報を得られる手段ってあるの？ テレビ？

W 効率悪そう。

N やっぱり活字を自分のペースで読めたら良い、って考えると…。

W 「教養」って考えた時に一番浮かんでくるのは、やっぱり本じゃない？ 違うのかな？

E 正直 Web 上で、本と同じくらい体系化された知識を得られるかって言うと、そんなことは無いと思う。本のほうが明らかに強いメディアだと思いますよ。

W でも Wikipedia なんかは…。

E それは体系化されてないじゃないですか。

W いや、でも「桑田佳祐」とか調べると、本を何冊も読まないといけないような情報がぱーっと出てくるよ。すごくわかりやすく。

E そういう項目は良いんですけど、「量子力学」とかは、なんですかこれはという感じで、わからない。

W 量子力学なんてどれ読んでもわかんないんじゃない（笑）。

Y それに、本は金がかかるという点がありますよね。

W そうなんだよ、高いんだよ本って。文庫一冊に 700 円は払えない（笑）。

N だから図書館がある。

- Q いや、本は買いたい。
- A 持っていたいでしょ？
- Q そう。それに哲学とかは一回読んだだけじゃ絶対理解できないから、手元にないと。
- A Web はタダのものが多から、そこに本に勝てる点があるかも。
- Q ただ現時点では、情報を仕入れるメディアとして考えると、本のコストパフォーマンスが一番良いんじゃない？
- A でも一冊ずつに関してはやっぱり高いと思うけど、そんなことない？
- Q そんなことないんじゃないですか？
- A でもこれ青空文庫⁸ が上がったら買う？
- Q あれはあれで読みにくいんですね。パソコンの画面は光るし。ダウンロードしても、紙に印刷したいんですよ。
- Q 画面が読みにくいってのはいま改良されつつあって、専用の端末が開発されてるらしいですよ。紙媒体と同じような感覚で目に映る。だから画面がチカチカするっていうのは前時代的な考え方らしいですよ。
- A じゃあ本は無くなるってこと？
- Q 本屋のせがれとしては、それは言えないです（笑）。
- A 本 vs. Web ですね。この辺は“ユビキタス大学”にもつながっていく問題ですね。

⁸ 「インターネットの電子図書館」を標榜し、著作権が失効あるいは放棄された様々な作品を公開しているサイト。

<http://www.aozora.gr.jp/>

体験すること？

- Q 博物館なんかはどうですか？ 大学パートナーシップ⁹ があって、タダで入れたりするんですよ。
- Q タダなんですか？
- A タダのところも結構ある。
- Q でも箱モノはメインではないんじゃない？ 数の問題とか、そこまで行かないきゃいけないってこともあるし。ユビキタス感が弱い。
- Q 博物館がデジタルになってしまえばいいと？
- A それ結構もう Web にあるよ。
- Q いや、でも本物見たいんですよ、絶対違うと思わへん？
- Q いや、もちろん違うでしょ。
- Q だってその美術館の照明であったり仕切る間合いであったりさ。
- Q それもインターネットの中にあったらどうすんの？
- Q おおっと…でもパソコンの画面見ても、ふっと横を見たらギターなんかがおいてあるわけで。
- Q そういう『マトリックス』トークをしていますけど、帰ってきませんか？
- A それも、ある意味では教養の話だと思うんですが…。
- Q まあ、でも確かに体験に従事するところはあって。例えば絵画展とかあって「俺はラファエロが見たいんだ」って行ってラファエロ展見に行って体験してくるのは良いと思うんだけど、そこで教養を得るって言ったら、そこで得られる知識の量としては少ないってどうか。

⁹ 入会した大学の学生が、常設展は無料、特別展は割引料金になる制度。

- Y 要するにデータ量ではない，データにならないものってのがそこから得られるから，ってこと。
- W それってなんか教養と似た感じじゃない？
- N そうだよ，だから「ピカソはすごいよ！」って言った時に，その言葉の裏打ちが違うねん。
- E 「俺，ちゃんとルーブル行ってきたし」みたいな。
- N そうそう，実際に見た上で「すごいな」って言えるのは素晴らしいことだと思う。
- L あの，体験ってどうなんでしょうね？ パソコンが凄い進化したら体験ってもうここで体験できるのかな？
- Y それは五感の話？
- L まあせやねんけど，例えばな，今パソコンの画面見ると実際のところ行くのと一番大きな違いは何かっていったらやっぱ2Dと3Dの差やんか。でもだいたい次にホログラムが出てくるとするやん，するとここに3Dの世界が出てくるわけやん。
- W で，その触った感覚とかもできるようになったらって話でしょ？
- Y ああ，今それまさにバーチャルリアリティーって話で。
- L そう，ここですべてのことが起きるようになったらすごいと思いませんか？
- W 総ての事象がこの中で起こってるってなったら，なんかもう変な感じ。もともとあの有名な話で，脳が培養液につけられて電極がささって，今自分が見ていることはその…。
- E それ、『マトリックス』の世界ですよ。人間の世界は第一義的に仮想的であるっていうのが前提なんですよ。まず総てが脳に電気信号に変換されて，それが情報として認識されているから，リアリティーってのはその変換された符号にしか過ぎない。
- Y 「物がある／ないってのは何だ？」「存在って何ですか？」っていう。
- L 知覚っていうのが空間と時間っていうのを越しちゃってるっていうか。確実性ってのはどこにも無いっていう。
- W でも，体験って考えると，例えばヒロシマのヒバクシャの話を知って追体験とかよくいうけどそれって体験自体とは全然違うでしょ。話を何も知らないのとは全然違うし，ほんとの実体験とも違う。なんか変なところにいるよね。そういう体験ゾーンもまたあるんじゃない。
- L それが居ながらに体験できたら…怖い。匂いも質感もこの場で出てきたら。
- W 匂いとか全然やってるもんね。
- N 電話で匂いが伝わるっていうやつでしょ？ 何種類かの液体が組み合わせられてににおいが再現される，みたいな。
- Y 果物とか所詮なんかエステルだっただけでいいもんね。
- W そうそう，博物館とかでボタン押すとバナナの臭いがでる。
- Y 香料の作り方も一緒じゃないですか。
- W 偽物，偽物論だね。
- E どっちかっていうと「揺らいだ本物論」ですけどね（笑）。
- Y 炭酸飲料のなんとか風味とか無果汁とか。
- W 「本物はあるものではなく，なるものだ」みたいなことを言ったのってだれだっけ。
- Y なるものってどういうことですか？
- W 本物は最初から本物なんじゃなくて本物になる，何かが本物になる。
- L なんとなくはわかりますね。

- Y 要するに教養ってみんなが思うものの中には、体験して得るものもあるし、体験をと
もなわないものもある。両方教養のカテゴリに入れる人もいるし、入れない人もいる。
- W で将来たぶん十年とかのスパンで「体験」というものがかわっていくんじゃないか、
という話。
- L 現場に出る、何が現場かわからなくなってきましたよね。すごい怖くなる。
- W 「昨日の日本シリーズ見た？」っていうのは、テレビで見たらもう「見た」でしょ、た
ぶん。
- L そうですね。
- W …なんかもう筋を見失ったわ (笑)。
- E 『地下室の手記』¹⁰ みたいな状況ですね。この5人の中で勝手にリアルが揺らいでる
んですよ (笑)。
- W 外はとっくに日が暮れてましたっていう (笑)。

10 ドストエフスキーの著作。

駒場生の思う教養人

- N アンケートの方に戻って、飛ばした問3に行きましょう。「この人は教養がある！」
と思う人を挙げてください、という設問ですが…。
- W これ、教官ウケが非常に悪い質問でして。みんな、「やらしい」とか書いてて。
- N 深読みのし過ぎですよ、ちょっと出してほしかったですね。
- W 素直に言ってくれば良かったのにね。
- L 「こんな質問は教養が無い」って…なんででしょうね意味わかんないですよ、あん
まり。
- Y で一方、学生はいろいろ書いてる。
- W 学生はウケがいいよね、これ。
- N そうですね。集計した感じで言うと、まあ立花ゼミということもありますから立花隆
と言う回答は多いです。まあアンケート右下に思いっきり書いてあるわけですし (笑)。
- W これ相当バイアスかかっているもんね、立花ゼミだっていう (笑)。
- N 二番目は太田光ですよ、爆笑問題の。
- W きましたね。
- L 太田は番組やってるからね。
- Y なんかamazon¹¹とか見てもそれなりに批判は入っていましたよ。
- W いやでも批判されるぐらいになんないと、やっぱり。
- Y 「教養って何か」というコンセプトの番組をやっていろんな先生とかに話を聞いて
いるけど。なんか、意見がかみ合っていないと言うか…なんか、その「インタラクション」
になっていないよっていうレビューがあったんですよ。
- W 彼がなんで良くも悪くもすごい評価される人になっているかって言うと、彼のしゃべ
る言葉に関して「自分の言葉率」ってのがものすごい高い、あの人は。
- Y 自分の言葉率？
- W 自分の言葉率、僕らの平均が10%だとしたら、それでも高い方だと思うけど、彼は
99%ぐらい本当にあると思う。で、自分の頭で組み立ててしゃべる言葉ってのをめちゃ
くちゃ大事にしている、彼の本とか読んでてもすごい感じる。それを組み立てる力ってのを

11 巨大インターネットショッピングサイト。

教養って捉えたら彼は今抜群の教養人だね。

㊦ わかります。俺太田が話してるの聞いてて、「西田幾多郎がね、これこれこう言ってるのよ、本で」って言って、でその西田幾多郎の語りを自分の言葉で言えるって、すごいと思った。

㊦ あそこまで自分の言葉を持つてる人ってのはそういないと思う。表現ていう力じゃないのかなあは。それに教養的な評価を与える人にはものすごいウケがいいと思うけど、「だから何なの」という立場の人には「なんかガチャガチャ言ってるな」みたいな。そういう受けかたされるんじゃないかな。

㊦ あと多いのは誰ですかね。東大で教えてる人多いんですけど。あの、伊熊先生とか。

㊦ 授業受けてる人が多いんだよね。

㊦ あれでしょ、外部の先生が多いってのも着目しといた方がいいよね。ここの教授じゃなくてしゃべりにきてる人。非常勤と言うか。

㊦ 大江博さんとかも多いしね。

㊦ 外務省のね。現役の。あと小松美彦さんとかも入ってたよね。

㊦ あとは姜尚中ですか。

㊦ 学生は自分の受けた授業をもとに回答しているってことですよ。

㊦ そうだと思う。

㊦ でも、授業一回受けただけで「この人は教養ある」なんて、ようわかるなと思うけどな。

㊦ まあそれは別に個人の判断だし。そんなんで見抜けねえよって？（笑）

㊦ そりゃあだって、自分の専門で研究してることいっぱいしゃべれて当たり前やないかいって感じですけどね。

㊦ 「単なる博識の人」って問題だよ。

㊦ そう、だから結構親しく付き合ってる人じゃないと「この人教養あるな」なんてわからん気もするけどな。

㊦ やっぱ深く付き合ってる人じゃないとあれですよ。

㊦ じゃあその、誰でも深くつきあうようになればいろいろわかるようになるものなの？

㊦ でもよく知った人でも教養ない人はたくさんおるしな…。

㊦ じゃあ、「ない」ってのはわかるんじゃない？「ある」ってのは判断しづらいけど。

㊦ あ、それは言えてる、反対の概念がよくわかるっていう。

㊦ インプリシットな定義しかできない¹² なんだね。

㊦ そうそう、それって結構面白い定義かもしれない。

㊦ そう、バイトしててお店の良さってのはあんま伝わらないんだけど、お店の汚さとかマイナスの評判でどうしてもかなり伝わってしまうから。同じようにやっぱり教養無い方がよくわかってしまう、でしょ。

㊦ じゃあもう、「教養のある人」イコール「教養が無いな、って思う人以外」ってことで。なんだっけ、補集合だっけ（笑）。

㊦ すごくネガティブな発想ですけどね。だから、「Q. 平和とは何か」「A. 戦争が無い状態」とか。

㊦ 他にこの人教養があるってのは…茂木さんがあがってますね。

㊦ 茂木さん本出し過ぎだよ。

㊦ メディアに出ていますからね。知名度は高いですよ。姜尚中と同じように。

12 「教養とは〇〇である」というふうにはっきりと決めることが難しい、ということ。

- Q けど、前書いてる本読んで結構面白かったで。
- A 医学部と法学部だけ。
- Q 他には麻生太郎も挙がってます。
- A 中沢新一も挙がってるね。中沢事件とかをみんな知ってるのかな。
- Q 川人さんも挙がってます。内田樹さんも。
- A よく新聞にも書いてる人ですよ。ゼミを開いている人は、書かれている確率が高いんですかね？
- Q そう、回答として「ゼミ開いてる先生は」ってのもあったし。
- Q 宮崎哲弥。
- Q テレビ出てますからね。
- Q このおっちゃんもあんまり好きじゃない。
- Q すごい勉強家だと思うって人もいるらしい。古いところでは夏目漱石、中島敦あたりも挙がってますよ。
- Q アリストテレスとか書いてる人はいないの？ そこまでさかのぼる感じは？
- Q ないですね、そこまでの。
- Q サイドとか挙げたい。オリエンタリズム難しすぎて読みこなせない。
- Q 方や「さかなクン」とか挙げてるのもあります。
- Q それはなに、うちらに対する挑戦？ それともまともな発言？（笑）
- Q 教養の定義がすごく揺らいでいる（笑）。
- Q タモリってのはどうなのでしょう？
- Q 村田純一先生の回答に「ビートたけしって答える人がいるけど、特に何も感じない」ってありましたけど。
- Q 「反対はしません」みたいな。

授業の好み

- Q 問6・問7を一気にやってしましましょう。
- A 何が多かったの？ この面白い授業ってのは。
- Q はい、やっぱり母体数が多い900番（教室）でやる授業なんかはイエスもノーも多いですね。
- Q じゃあ評価が悪かった方ってのは？ 900の授業かなやっぱり。
- Q そうですね。あ、集計して気づいたことですが、批判にも良い面を挙げるのにも、僕が目立つなと思ったのは、「体系的」って言葉です。結構みんな「体系的」という言葉を使って批判してます。
- Q それは教える内容？ それとも教える体制？
- Q 内容の方です。この授業は先生が体系的な教え方をするというか、段取りというんでしょうか。「体系的に学べてよかった」とか。
- Q それは評価される方向で？
- Q にも使ってる人もいるし、逆に「授業が体系的じゃなかった」と言って。散漫だったとか。
- Q 俺、散漫でも全然良いんだけど。

- Ⓝ あ、だから教授が自分の趣味をつらつらと語る感じでも全然良いつてことでしょ？
- Ⓦ うん、俺そういうの大好きだから。そもそも俺体系立った授業なんてそんなに記憶にない。そんなにあったかな。例えばどういうのが挙ってるんだっけ？
- ⓔ 体系立った授業として認識して受けてるわけじゃないんですよ（笑）。
- Ⓝ 演劇論とか、挙がってます（笑）。
- Ⓦ 演劇論!？（笑）
- Ⓛ 母体数が少なすぎる！（笑）
- Ⓝ 古今和歌集の国家による利用を扱ってましたって書いてある。内野儀先生です。
- Ⓛ 例えば歴史もカオスに学ぶよりも…。
- Ⓨ 歴史って最たる例じゃないんですか？“体系”が良いのか悪いのか、っていう。
- Ⓦ でもあれは体系として整理しているわけでしょ。
- Ⓨ まあそれを歴史だと見ればしょうがないんですけど。
- Ⓛ フランス革命やって、中国三国志やって、冷戦時代やって、つてのも楽しい気もするか。そういう勉強の仕方もありか。でも僕たち高校時代からは歴史は因果関係因果関係つていって『ドラゴン桜』でもやってたやん。
- Ⓝ やってたね、後ろから歴史をさかのぼるやつでしょ。
- Ⓛ うん。理由を見つけ出すのが歴史だっていうけど。
- Ⓨ それ、全部だいたい理由が見つかるか、あるいはこじつけられるものが出てくるんですか？
- Ⓛ まあせやねんけどな。こういう事件があったからこうなって、でそんなときは国民がこういう不満を持っていたからこうなって…。
- Ⓦ あれ嘘だよな。
- Ⓛ そうすよね、何でお前国民の気持ちかわかんのやって。おまえナポレオンの気持ちわかんのかって（笑）。
- Ⓨ それはもう経済動向の解説も同じようなりアクションですよ。例えばなんかの株価でも良いけどいきなり値上がりしたとか値下がりしたとか、解説つきますよね。「ここはなんでこう動いたか」という風に。「後付けだろ」って感じもしなくはない。
- ⓔ じつはその日投資家が風邪を引いて、とか（笑）。
- Ⓝ 桶屋が儲かった、とか（笑）。
- Ⓦ 北京で蝶が羽ばたいた、とか（笑）。
- Ⓛ そう考えるとおれも体系だった議論はあんまり好きじゃないのかな。
- Ⓨ だからなんか、「所詮後付けじゃないか」っていう感じを抱いてしまう。
- Ⓝ 「良かった」って意見が多いのは、伊熊幹雄先生ですか。近現代史、国際政治と国際報道。
- Ⓦ 伊熊さんの授業って俺も出てたんだけど、授業がめちゃめちゃ上手いよね？
- ⓔ 上手いです。
- Ⓦ BSの特集とか結構多く使ってて、常に画面の上にBS1とか出てるよね。で、レジュメも新聞社だからめちゃめちゃ上手くてさ、あれ読売の寄付講座なんだよね。
- Ⓝ つまり伊熊先生には伝達能力があったんすよね。
- Ⓛ それがコミュニケーション能力ですよ。それがサッパリ無い人間がおるんですって。
- Ⓝ その次点としては、大江先生の国際関係論。

W そのふたつはさ、社会に出て求められる知識的なニオイがしない？ あの、本屋の就活コーナーの、なんだっけ、そう、SPI¹³とかの時事の問題とかに。

N うんうん。他には国際関係と同じくらいの人数で基礎演習もあがっています。

L 基礎演習メチャクチャ楽しかったですよ。

N うん。自分で組み立てるのが楽しい。だから唯一、与えられるんじゃなくて自分からやって発表する授業ですよ。で、悪かった方の授業の代表が「情報」です。

E いや、情報が嫌とは言っても、なんだかんだでみんなネットは使いますよね、パソコン。

N だから、だったらそういう内容にすれば良いじゃん、ていう。

Y そういう内容とは？

N だから、メディアリテラシーとか…。

W いやもう、俺メディアリテラシーとかいらんと思う。HP つくるとかそういうのが良いと思う。

Y メディアリテラシーってどういうこと教えるの？

L だから情報倫理やんか、それが正しいのか正しくないのかを見分ける。

W え、そんなん習った？

N 習いましたね、額面通り。まあ「YouTube 見てた」って意見もありますけどね (笑)。

授業をする授業？

W ちょっとじゃあ次、問 8。これ楽しそうじゃない？

L 「教室の外にでる授業」とか。あ、「立花ゼミ存続を求めます」これ (笑)。

Y 「授業をする授業。自分が授業をする側に立つ」。

W あ、それ面白い。授業をする授業いいね。

Y 「フィールドワーク」「業界について知りたい」。

W ああ就職志向ですな。

N 「現役国会議員の講義があれば聴きたい」

W 絶対聞かないわ (笑)。

N みんな官僚になりたいんすね。まあ、方や「出席なし、期末テスト出るだけで優」とかっていう走り方もありますが。

W いや、期末テストに書いたもの次第でしょ、それは (笑)。L はどうなの？ どんな授業があったら受けたい？

L 僕ですか？ そもそも僕はもっと研究室とか行きたい。いろんな人としゃべってるのが好きなんで。

N だから少人数授業っていう意見は多いですよ。

W ちょっとそれにするには 3000 人が多すぎる。無理な数字なんだよね、ちょっと。

L まあそら限界はあると思いますけどね。ゼミはいい機会なんすけどね。

E 一時期東大って最初ほとんどゼミにするみたいな雰囲気があったんじゃないかなかったですっけ？

W 読んだ。俺も読んだわ、それ。「所属教員は全員ゼミ持て」って計画した時代があったんだけど。いつだっけあれ？

13 リクルートマネジメントソリューションズ社製の就職採用テスト。現在は SPI2 が導入されている。

14 前章の教員向けアンケートに回答して下さった矢口祐人^{ゆうじん}先生のこと。

- Ⓔ 戦後すぐ、ですね。
- Ⓕ それは人数が少なかったから？
- Ⓖ いや、人数があまりに多すぎたから立ち消えになった。
- Ⓖ あん時はどんぐらいだっけ？ 2000人ぐらい？
- Ⓔ そんぐらいじゃないんですか？ ハーバードは少人数教育でまわしてて。で言いかけてましたけど、コマ数が少ないんですよ。
- Ⓕ それは必修の？ とりたければとれるんでしょ？
- Ⓔ そう。しかも必修系の授業が週に2コマとか3コマって。文系理系とかもそんなに関係ないんじゃないかという。専門に関する基礎的で幅広い体系的な知識を、四年間で身につけるっていうスタンスらしいんだけど、実際行ったことないから知らないです。というのがホントのところ。
- Ⓕ その辺は矢口先生¹⁴に訊きたいですね。
- Ⓖ そう、矢口先生も「一年生で週20コマとるようなカリキュラムは論外。そんなに勉強できるはずがない。その意味でカリキュラムは失敗。でも、20コマの中でなにか考えるヒントになる授業が3つあれば、それは成功かも。」と書いている。
- Ⓖ その通り！
- Ⓕ 要するに、「良いやつ3個あればあとはいい」わけだ。
- Ⓖ 3つあるってのは結構幸福な状態じゃない？
- Ⓔ 正直そしたら俺は残り17コマは出たくない。
- Ⓖ でなきゃいい（笑）。
- Ⓖ そしたら今俺は立花ゼミと哲学Ⅱかな。
- Ⓖ それで充分ってことでしょ。その2つに終始したい。だからぶっちゃけ一週間に2コマでも学び続けることはできる。モチベーションが高いから。
- Ⓖ さすが立花ゼミ生だな（笑）。
- Ⓖ だから今の時期なんかはもう授業なんか出ないでずっとゼミのことしてたほうがためにもなるし…。
- Ⓔ 絶対それは自信がある感じ。
- Ⓖ でもそれは実際どうなんすかね、自分の好きなことを勉強してるだけだったら、例えば文系が理系科目をとらなアカンてのは僕たちにとってもジレンマですよ。
- Ⓖ それは面白いからやればいいんじゃない？
- Ⓔ 面白くなければやらなくていいというスタンスで？
- Ⓖ いいんじゃないですか？（笑）
- Ⓕ だから、「ムリヤリ文系に理系の内容をやらせる意味はあるのか」という意見が出るわけですよ。その逆も然りですが。
- Ⓖ 生物を絶対勉強しやなという、立花先生の話は…。
- Ⓖ でもさ、そういうのやった人が「面白いぜ、ここまで来てみろ」みたいな風に語るのを感じない？ どう？
- Ⓔ 文系と理系の垣根を軽々と越えた方々が？
- Ⓖ 俺はそういうの感じるからすごくやりたいと思うけど。

オールラウンダー

Q おれ一番モヤモヤしてんのは、自分の勉強したいことをしていいの？ ってこと。なんか、リベラルアーツって、理系のこともしながら、いろんな広い分野のことを勉強しなくちゃならないってことなんでしょ？

A しなくちゃ、というか「したきゃ、しな」みたいな。

Q それでいいんですか？ 例えば文系の人で文系のことのみを、哲学好きが哲学のみをずーっとやったらそれは教養って言うっていいんですね？

A いや、たぶん歴史的にはちがうでしょ。3学4科とかそういう話が出てきて。

Q 要するにやっぱ、学びたくない教科でも多少はやんなきゃいけないということですか？

A まあ文系とか理系とかそもそも分けてるのがどうかって話もあるし。そういう一括りの言葉で全て言い表せてるわけじゃないと思う。

Q もちろんそうすけど。少なくとも今は、ABC 系列と DEF 系列でってこと。数学は誰がどう考えても理系やん。

A でもやっぱりある程度は強制してやらせないと見えてこないんじゃない？

Q そこら辺がよくわからないとこなんですよ。

A それが「駒場まで」なんじゃないですか？ 専門まで行けば「おまえの興味ないことなんかやなくていいし」みたいな。

Q だから、もっと履修の数を減らして自分で自由に勉強させていく、自分で勉強しようっていう雰囲気を作っていくかな。自分で勉強する力ってのが必要やと。ですよ。でも「教養とは幅広い知識のことを勉強することだよ」って言われたら、それすごい矛盾してるじゃないですか。どっちやねんっていう。

A まあ答えはどっちもなんじゃない？ (笑)

A でも個人的には専門馬鹿でもいいと思うけどどう？

A ていうか実質教養学部っていても、それをつくってる先生って全員専門の寄り集めでしかなくて (笑)。

一同 そうそう。

A それをつくってるのはお前らのくせに。

A 言葉は悪いですけど、教養学部、後期の教養学部でもそうですけど、なんかやってることは究極、理学部とかなんとかなんとか学部とか、中途半端なものを寄り集めただけだろうって。

A それなのに、学生にはオールラウンダーを求めるって言う奇跡のような願望を持っているわけですよ (笑)。

A オールラウンダーねえ。

Q 俺の意見としては、教養で出てくるの二つの意見「自分の学びたいように学ぶ」と「幅広く学ぶ」、その二つってどう考えても両立しないじゃないかって。

AEW うん。

Q 自分で学ぶ姿勢でありながら、すべてのことをオールラウンドに学ぶ。謎すぎるこの設定 (笑)。

A 適当に折り合いをつけてこなしていくのが正しい東大生の姿。

- ㊦ あー、適当に単位そろえて。
- ㊧ やりたいことはしっかりやとくと。
- ㊦ サークルとか。
- ㊧ 社会に出てから大事だし、みたいな。
- ㊦ そうそうそう。インターンシップに行ってきます！ みたいな。
- ㊧ 就職の話もしなくちゃいけないんじゃないですか？ 絶対外せない大事なテーマでしょう、これは。

就職活動と大学

- ㊦ 3年生から就活するな、ってやつですか？
- ㊧ だってそこから就活始めたら2年の後半から3年の前半まで、一年くらいしか専門教育を十分受けられる期間がない。めちゃくちゃな大学だな（笑）。
- ㊦ え、就活している人って、ほんまにそんな就活ばかりに頭いっぱいになってるんですかね？
- ㊧ だってその後の何十年が決まるんだぜ。
- ㊧ 学業に専念できているか、って言われたら…。
- ㊦ そもそも大学生が就活するような社会でいいんかと。
- ㊧ そういえば立花先生が相前に、企業が就活していい時期が決まってたって。
- ㊦ その決まり、いつ破られたかわかる？
- ㊦ 青田買いをしまくるわけだ。
- ㊧ 就職ってというのは教養に反することなんですか？
- ㊦ いや、全然そうは思わないけども。
- ㊧ 就職したら教養はなくなるか、いや、教養を得る手段はなくなるか？ というのも一つの問いでしょうね。
- ㊦ 極論すると、すし職人ですしのことしかやってない人だって教養はあるかないかって言われたら関係ないよね。この人教養ねーよって言えるはずがなくて（笑）。でも今の時点ではかみ合っていないんじゃない？ 大学の教養教育と就職活動。
- ㊧ 全然かみ合っていないです。何を学んでいたか、そんなに影響しない。
- ㊦ 東大がそういう場所であっていいのかってことですよ。それをその辺のブランド力だけでいい会社に入ろうとして東大に入ってくる人もいる。
- 一同 うん。
- ㊦ すばらしいじゃないですか。
- ㊦ それでええのんかと。
- ㊦ ㊦ 別にいいんじゃない??（笑）
- ㊦ 結局好きにすれば？ っていう結論になっちゃうから。俺が。

アカデミックフリーダム

- ㊧ そもそも大学ってどうやって出来たかという、ほかの大学はユニバーシティの自発の理念からできたというけど、東大の場合は、立花先生が書いてたと思うけど、（天皇を

含めて)“お国のため”にできたっていうことがありますね。それは今どうなってるんですか？

Q 今って大学，自治…いや，なんていうか。

E 独立行政法人化？

W でもさ，アカデミックフリーダムの話，立花先生と企画立ち上げの時点が出てたよ。題名にアカデミックフリーダムを入れるかって話も結構あって，「アカデミックフリーダム」ってどういうことですかって聞いたら，学問をする自由だとか，発表をする自由とかって言うのを考えると，カリキュラムを決めるのは文科省でいいのか，ってところまでいくわけで。

Y 国でいいのかって。

W そうそうそう。だから，大学もまだ全然縛られてるわけでしょ？ そういうのはいいのかって話を結構して。最初これになるのかなって思ってたんだけど。

E そうですね。中央教育審議会には大学分科会ってというのがあって，大学の教育について相当の権力を持っていますからね。

進振り撤廃？ 科類撤廃？

W じゃ，問9に！ これ，今回の核じゃない!?

Y そもそも東大総長って何してるんですか？

W いや，何してるんだろ？ 知らないんだよね，俺。

E なんで書いたんですか？ これ(笑)。

N たしかにこれは雰囲気だね(笑)。

W つまりそう，一番伝えたいことが伝わるかなあって。

E つまり総長って言うのは美辞麗句みたいな。

W そうそう。

E 東大の教育をばっちり変えられるとしたらどういう，ってことで。

Y 総長…取材受けてることしか知らない。

W 取材と，あとハンコ押してる感じ？ どうなの，みんなの意見は？ アンケートでもいいし。俺はまず人数削減だよ。

N ありますねえ。

W ちょっと多いでしょ。

Q 3000人はねえ。

W 食堂とかやばいことになってるし。

Y これ，高校生に聞いたらどうなりますかね？

N 一年前の俺だったら絶対いやだな。

Q 俺たちが入る前に削減されてたら，そらおかしいやろって(笑)。

W 倍率があがっちゃうし(笑)。

Y だから，入る前の高校生は何も考えない，って言うのとあれですけど，内部のことを知らないね，ただ入りたいっていう。

W そうそう。そういう人が多いんですよ。

Y まあ，自分で考えるか，他からそういう風に励まされてくるか。

- Q やっぱあれなんちゃいます？ 進振りで入りたいところに入らして、授業ついていけないやつは切るっていう。
- W アメリカ式。
- E 卒業できるのが3割，という。
- Q 少なくとも今の点取り合戦よりはええと思うんやけど。
- W じゃ，進振りで点数なし。
- Q そうです。ようするに行きたいところに行かせる。
- W なんで駄目なんだろうね？
- Q 教員の数でしょ？
- Y 柔軟性がないっていう。
- W だから進振りも基本希望通り。いいと思うんだけどな。そんなに乱れると思う??
- E どうなんですかね？
- N 泣くのはどこだ？ みたいな。
- E 最先端の少数精鋭みたいなところに駄目な学生が殺到すると，若干テンションさがりますよね？
- W 淘汰されればいいんじゃないの？
- E 最終的に残れるの20人だよ，5分の1に落ちるよ，みたいな。
- Q そうそうそう。
- W 文三から医学部行きたい人ってさあ，いないのかな？
- E たしか文一いましたよね。
- W だからもっと潜在的な母体は多いんじゃないかな？ どうなんだろう。
- Y 点数がこれだから諦めてる。
- W 点数もそうだし，要求科目も。
- Q もしほんまにそうになったら東大目指す人めっちゃ増えると思いますよ。文三からでもひとつとびで医学部いけるなら。
- W じゃ，二次の入試で理科社会全部やらせる，みたいなことをやったら，そんなに生物の知識がさ，欠落した人が医学部に行かなくて済むんじゃないの？
- N 「科類撤廃」っていうのもありますね。
- W あるね。でも今，後期入試¹⁵とか見てるとそういう流れがあるのかな？ どうなんだろう？
- Y もう文理を統一する方針じゃなかった？
- N そうか，統一するの。
- Y 今年も文系理系一緒ですよ？
- W あ，後期入試の話ね。でも，もし高校のときに，東大が，文一とかなくて教養学部だけだったら，すごい惹かれるわ。
- E どきっとしますね。
- W どきっとする。やるじゃんっていう（笑）。なんか粋な感じがするよね。

15 既存の国数英社理の枠にとらわれない入試問題で選抜し，理科三類を除く全ての科類に進学できる。平成20年度から新たな形式に切り替えられた。

入試に関して

- Q 若干みんな疲れてる感じが（笑）。

- E ここで絶好調のはずなのに (笑)。
- W 今日の出席者の幅広さ、北から南まで。なかなか面白い。
- N 面白いですね。みんな公立？ 私立？
- N 私立です。
- W 高校だけ？
- N うん。
- L うち、中高一貫。
- W じゃ、6・6・4？
- L そうですね。
- W でも、実際どうなの？ 二次の入試で社会理科やらせたら面白いとおもうけどね。
- N 負担増えるだろうなあ。もうやりたいことやらせればいいんじゃないの？
- W どういうこと？
- Y いや、だからやりたいこととか、やってきたこととか。
- N 面接やってしゃべらせればいいですよ。
- Y それか、今論文結構書かせてるから。
- N 東大も後期は書かせる書かせる。
- Y それを全部自由記述にさせて、好きなことを書けって。
- E お前の輝きを見してみろ!! みたいな (笑)。
- Y 表現する側からしたら一番やりやすいと思うんですけど。こいつは面白くないと言っ
て切られる側は…。
- E (笑)
- N 当然文句は出るでしょう。でもねえ。
- Y 今ほどではない。
- N ま、不可能な話ではないんですけどね。だって AO¹⁶ ってのはそれをやらせよう
としたんでしょ？
- W いわゆるこういう座学の教科で選ぶのをやめようっていう。大胆だね。
- N それは、AO でしようとしたけど、はじめの1, 2年は良いやつが凄く入ってきた。
ただ、もう予備校が対策立てちゃって。で、高校も対策をし、いかにも僕は輝きを持った
生徒ですっていうのを植え付けさせて、ぼーんと試験に送り出して、対策通り書くから、
もう意味ない。
- W 大体自分で書いといて、「自分が輝いてる」なんて書くやつは絶対大したことない
(笑)。
- L 僕だめなやつです、って書けば (笑)。
- E ニート地で行ってます、みたいな (笑)。
- Y 例えば、試験室に一日閉じ込めて、何万字って言う文を、何時間かけてもいいから一
人で書けっていう試験をしたとしても、対策って可能ですかね？ 予備校なんかで。
- N 準備していけばいいんでしょ？
- W 絶対やるよ。それは絶対。
- E 例えば、フランスのバカロレア¹⁷ ってあるじゃないですか。これって進学校の生徒
なら有名な哲学者の文言を覚えていって、それを引用する形で書いて、文字数を稼ぐとか
いろいろあるんですよ。
- W あ、そうなの？

16 「アドミッションズ・オフィス
Admissions Office 入試」の略。

17 フランスにおける大学入学資格
を得るための統一国家試験のこと。
初日の哲学のテストは国家規模の注
目行事。

- E そういう風に4時間ばーつと書き続けてバチっと10枚くらい綴じて、受かった！みたいな。
 W 入試の科目って東大でも減ってきてるんでしょ？
 E 元々理科必須でしたからね。
 W だよね。
 E 文系理系あんま関係なかった。
 Y あ、そうなんだ。なんで変わったんだろう。
 W しかも昔は時間も全部同じとかじゃなかった？全部まとめて何時間みたいな。
 L そうだったんですか？そら知らなかった。
 Y それ、体力勝負じゃないですか？(笑)
 W だから、「数学をやりすぎて時間が後何分だった」みたいな話、小説とかに出てくるよね？
 E そうですね。遠藤周作の本¹⁸とか。
 W そうそう！

18 『灯のうるむ頃』にその記述がある。

「進振り」ふたたび

- W うちのコンセンサスとしては、「今の進振りはおかしい」ってのは打ち出しているの？
 N とりあえず、進振りを変えるって書いているひとは多いです。ほんとに多いです。「進振り廃止！」
 E これはコンセンサスを打ち出して、何らかの意見書をつくるんですか？それとも。
 Y 「教養の何たるか」に関して、「コンセンサスはない」というコンセンサスが得られた気がします。
 E 俺もそう思う(笑)。
 W 建議で出せばいいじゃない(笑)。でも実質さ、おれが数学科に行こうと思ったら、もう一年の最初から、理系の科目をうまく組み込んでいかないといけないんだよ。
 Y システム上ですか？
 W そう。あそこはね、数学科なのに物理もやらなくちゃいけないから。
 Y そうなんですか？
 W そう。
 N だから、ギャップがあるんすよ。入る前と入った後に。
 W そうそうそう。だから大したことないんだ、この進振りのシステム。
 N 入った後に2年間あって決められると思いきや。
 W その、振り分けに関しては大したことないんだよね。
 L どこに誰行くかは決まってる。
 E 昔はもうちょっとかっちりしてたんですね。
 W まあ今は全科類とかあるからねえ。
 N ほか行ったらまた感じが違うんだろうな。
 W そうだろうね。ほか知らないからね。
 N 俺たちがいくら「腐っている」と言っても。

W まだ食べられるほどの腐り具合かも (笑)。

一同 (笑)

W どんだけ卑下してるの、うちら (笑)。

N 問9は他にもいろいろ意見が。

Y 「もう少し英語を話す環境が欲しかった」

N 「英I無くす」, 「語学は自分でやりたいと思う」, 「各自でこなした方がやる気が出る」。

L 一高の人から聞いたんですけど、第一外国語がドイツ語でな、第二外国語が英語だったって、なんかすごいことですよ。

W もう外国語がメインでしょ、旧制高校って。

L そうですよ。教養学部の初めっていうのもやっぱり外国語なんですよ。

W 外国語とリベラル・アーツっていうのをいまだに引きずる感じ。

N ひいては「理系の授業の授業を全部英語でやれ」っていう意見もありますよね。

W まあ、全部とは言わないけどねえ。英Iってちょっとそれに近い感じで、俺割合好きだったんだけどなあ。

6・3・3・4 制の組み換え案について

N どんな案があるの？

W 6・6・4。

E あとは、6・5・3・3。

W 6・5・3・3ってさあ、6・5・3で切って、その次は行きたい人は行く感じなの？

E そうですね。

L 最初の3で教養ですよ。

E 最初の3で学士課程っていうふうにして、最後の3で専門的なところをやっていくと。

N 6・5・3・3の特徴を述べると、教養(課程)が長い。

L だから、6・5までで、高校までを終わらせるってことですよ。

W でもかわいそうだよ。5年間はさ、受験に費やすわけでしょ、基本的な路線としては。

E その前に小学校の段階で受験勉強が生じるわけですよ。そこで選別が起きる。灘中学に入ろうみたいなことが全国的に起きることになる。

W かわいそうだな。

Y 中学校受験…どのくらいの市場なんですかね？

E 結構でかいんじゃない？

W 東京都は3人に1人は中学校受験じゃなかった？ 確か全国平均の3倍ぐらいじゃなかったかな。

L へえー。でもうちらはあんまり受験を体験してきた組じゃないから、何とも言えないとちやいます？ Nくんはどうやったの？

E 確か中高一貫のところには高校から入ったんだよ。

N そうだね。

- W じゃああんまり中学校受験を語るメンバーじゃないんだね。いや、でも、開成の人たちとかをうらやましいとは全く思わないでしょ？
- E それはないですね。
- W じゃあ6・5にしたいかっていうと…。
- E いやー。
- W だよな？俺は6・3・3で自分の行った高校でいいと思うんだけど。
- Y 6・3・3・4の何がいけないのかってことですよ。
- W まず、4の中に教養教育的なものと専門が詰まっているのがあって。
- L ようするに6・5・3・3は、大学の教養の方を伸ばしたいから、下の方をくっつけて短くしたって話なんですよ。
- E そうだね。でも、あとの3年を加えなかったら、6・5・3で20歳で就職になりますから、ほぼ短大と同じになりますよね。だから、たぶん大学側のフォーカスは最後の3年に移りますから、教養課程の3年間はばっちり守られると思いますけど。就職活動はまた別の問題として…。
- W そうだよな。
- E 就活はばっちり最後の3カ月ぐらいでしっかりやれよ、とか思いますけど。大学側もその期間を設けるとかすればいいと思います。でもまあ、6・5・3・3はうれしくないなあ。5に行きたくないもん。
- N 行きたくないですね。
- Y 要するに受験が嫌なんですか？
- N 6・3・3を知っている人間だからそう言えるんですよ。
- W そうだね。
- E 韓国は中学から高校に移る時に受験がないから、大学受験が過熱するっていう問題があるんですよ。
- Y 「受験がない」というのはどういうことなんですか？
- E 地方の教育委員会みたいなのが、住んでる地域とかで自動的に割り振っちゃうんですよ。
- W じゃあ日本の小学校みたいな。
- E そうそう。
- Y じゃあ、韓国の小中学校はどうやって決められてるんですか？
- E え、それも住んでる地域とかじゃない？
- Y じゃあ、日本と同じではない、ということ？
- E うん、だから高校までは住んでる地域とかで勝手に割り振られて、まあ、成績で職業高校に移っちゃう部分もあるんだけど、そこまではだいたい競争なく進んでくる。
- Y じゃあ、みんな10年来の友達とかがいるんだ。
- E どうなんだろう、それは知らんけど(笑)。それで大学受験でようやく競争が起きて、そこだけでしか分ける部分がほとんどないから、すごい過熱する。
- Y 大学の受験しかない。
- E まあ、一部の高校はすごい選抜っていうか…。
- W 超エリート校だね。アイビーリーグ¹⁹に送り込むっていう。
- E そうですね。
- N 6・3・3・4じゃだめなんですかね。

19 アメリカ北東部に8校ある名門大学の総称。

- Q みんな常識的に6・3・3で楽しく過ごしてきたんですよね？ いや、たぶん6・3・3じゃなくても楽しかったとは思うけど。
- A そこに矛盾を感じるほどでもないよね。
- Q いやでも俺4には異議あるわ、確かに。6・3・3の次、3やっぱり教養（課程）で取って、そこでもう切っていいと思うんだけど、どうなの？ 就職組とちょっと学ぶ組に分けるってのは。
- A それは教養学部として独立しちゃってってことですか？
- Q そうそう、ジュニアのコースを作って、そこで卒業してもだれも困らないと思うんだけど。
- A まあ、専門何学んでたかは、あんまり就職には関係ないですからね。理系なら関係あるかもしれませんが、文系は特に。
- Q そうそう。それ以上やる人は後の3年に行けばいいんじゃないかな。
- A 教養（課程）は無しっていいのはいんですか？
- Q どういうこと？
- A たとえば俺がこのアンケート見た中には、他大学に比べて教養（課程）がある分、専門課程が遅れて、一緒の所でコンペとかに出すと絶対に落ちてしまうと。まあ、これは建築なんですけどね。
- Q じゃあ東大来なければいい。ただ知らないんだよね、中のことを。
- A そうなんですよ。

「リベラル・アーツ」の実際

- Q 1年半のリベラル・アーツってどうなんですか？
- A まあ、全然「リベラル」ではないですよ。自由ではない。
- Q 入る前からリベラル・アーツってこういうもんだってわかってる人って、そういないでしょ。
- A 「リベラル・アーツ」というのは、東大の実態ってことですか？
- Q そういう意味。駒場の実態。
- Q ちょっとだけ質問なんですけど、たとえば僕たちがその、北海道大学の文学部とかほかの大学に行って、こういうリベラル・アーツは勉強できないんですか。「パンキョウ」で。
- A 「パンキョウ」って何？
- Q 一般教養のことをパンキョウって言うんだよ。ほかの大学にはあるんだよね。
- A そうなんだ。一般教養“コース”みたいな感じ？
- Q いや、普通の授業の中に一般教養の授業があるねん。
- A 自分でいろいろ選択できるの？
- Q 選択できるよ。
- A じゃあ、文系が量子論とかもできるの？
- Q できるんちゃう？
- Q まあ、でもそんなになんないんじゃない？
- A 開いている教授がいれば取れますけど。

- Ⓔ ここまでメニューは豊富じゃないんだ。
- Ⓕ まあ、もちろん。
- Ⓖ メニューこんなに豊富なのに、なんでこんなに魅力ないんやろう。
- Ⓗ 形だけだからじゃないですか？
- Ⓗ アンケートにも、「メニューは豊富だけど結果が来ない状態」っていう意見あったよね。ただ、学生を見ててよく思うのは、不満がありすぎるっていうか、不満に終始するやつっていますよね。授業は全部ひどいとか。あきらめすぎでしょ。探せばいろいろあるじゃないかと。学ぶ態度がないだろお前、って思うね。
- Ⓖ とりあえず活用しようという気概がないわな。
- Ⓗ そうそう。東大をもう少し活用できたらと思うな。もう少し単位どうこうとかじゃなくて、もうちょっと良心的に、学問的なレベルで会話ができたらよろしいんちゃうの？
-

まだまだ話題は尽きない。「『教養』の捉え方や教育の“理想像”が人によって千差万別である」ということだけは、はっきりとしたのではないだろうか。